

# 未来志創

G7広島・サミットが5月19日から21日までの3日間にわたって開催されている。主要7か国の首脳が広島市の平和記念公園を訪れたことは、平和を求める世界の気運をさらに盛り上げるためにも意義のあることだったのではないだろうか。21日にはウクライナのゼレンスキー大統領も来日し、初めてG7サミットに直面して参加した。広島平和記念公園も訪れ、ウクライナと広島を重ね合わせたという言葉もあった。唯一の被爆国としての日本が果たす役割は大きいといわれる。同時に、「核なき世界」をいかに創り上げるかが焦点になるが、核の脅威がなくなれば平和になるわけではない。核兵器について議論するとともに、いかにして世界から戦争をなくすのかについて考えたい。

そもそも戦争にもルールがあるということを知っている人は大人でも思いのほか少ない。ルールがあるということ戦争を肯定しているようにも聞こえるが、それくらい歴史的にも戦争が絶えず起こってきたということの意味している。国境なき医師団によると、戦争には大きく2つのルールがあるという。

1つ目は、民間人や武器を持って戦っていない人は全て戦闘行為から守られるということ。例えば、インフラを狙うようなこともやってはいけない。一般の人たちの生活や命に直結するからである。

2つ目は、武器や戦争の手段の規制で、非人道的な兵器を使ってはいけないということ。核兵器とか化学兵器のような、戦争が終わってからも環境や人体、遺伝子にまで影響を与えてしまう兵器は使用してはならない。

ほかにも、医療施設や学校を特に保護されるべきものと定められている。紛争で負傷した人も、武器さえ手放せば医療を受けられる権利もある。今起こっている戦争はどうだろうか。目を覆いたくなるようなニュースが日々流れるが、たとえ答えが出なくとも考え続けたい問題である。

今回のサミットのもう一つの大きなテーマは「グローバル・サウスへの関与の強化」である。グローバル・サウスとは、明確な定義はないが、アジアやアフリカ、中南米などの新興国や途上国を指す言葉である。その中に食糧危機(食糧問題)がある。

一国民として何かできることはないかと考えてもなかなか思いつかないが、せめて「食」に対する意識を高めてみようと思う。そこで、つい最近始めたのが畑づくりである。気軽にやってみようという気持ちで始めたが、これがまた奥が深い。いろいろ勉強してみるとこのような学びがあった。

## 世の中はすべて自分とつながっている

①…本当に大事なものは土づくりであることも分かりました。理想的な土ができる、種を蒔くだけでおいしい野菜ができるんです。百姓を始めて50年。今は夢のようにおいしい野菜ができています。

畑の草がいろいろ教えてくれます。イネ科の草は「カルシウム欠乏が始まりましたよ」と教えてくれます。イネ科の草が生えたら、1~2年休んで他のものを植え付ける。そうするとハコベやナスが生えてきます。それが1年ほど伸びると、その土はもう完璧な土と言っていい。そういう土で育った野菜は栄養満点で、とっても健康な体を作ってくれるんです。  
「日本講演新聞(2012/12/03) 赤峰勝人」

②…そんな中、福岡教育大学では雑草を運動場のような固い土に入れて、数か月で土をふかふかに変える実験を行っています。そこで育てた野菜が元気でおいしい「菌ちゃん野菜」になるかどうかを検証しています。

厄介者でしかなかった校庭や校舎の周りの雑草が循環して最高の土を作り、とってもおいしい野菜が生まれる。そして、その野菜を育てた人がありがたいたく。

そのとき、「世の中の生き物はすべて自分とつながっている。世の中にいないものなんてなかったんだ」ということを初めて実感できるのだと思います。

「日本講演新聞(2015/02/16) 吉田俊道」

③ 野菜が大きくなる三大栄養素は窒素、リン、カリウムですが、それが全て含まれているのが家庭で出る生ごみです。だから、生ごみを焼却してしまうのは、とてももったいないことなんです。

最近よく「食品ロス」が話題に上がりますが、食品のごみの問題は、食べられる部分を捨てていることだけではありません。再利用できるはずの生ごみの90%を捨てていることも重要な問題の一つです。

そこで、私たちは現在「2030年、生ごみ資源化100%」を目指し、活動を行っています。

「日本講演新聞(2021/07/09) たいら由以子」

今まで、頭の中で思っていたことと正反対のことにたくさん出合った。これらはすべて、思いをもつて続けた人にしかわからない境地である。継続は力なりとはよく言うが、継続した人にしかわからない世界がどの分野にでもある。先のサミットの話ともつながるが、2030年までに世界が目指すのは「持続可能な社会」の実現である。もちろん、世界が目指すといってもその主体は我々一人ひとりである。世界は本当に広い。知らないことはかりである。ただ、知ろうとする気持ちがあれば、その分野で生きる人たちに会える時代でもある。つまりは、自分次第だ。「政治家がこうだから」「国がこうしてくれれば」と思いをぶつけるのも大事かもしれないが、そもそも自分はどんな分野で、どういうふうにかの世界に貢献できるのか。そんなことを考え、チャレンジしていくことが、自分の世界を広げるだけでなく、やがては世界のためになるのかもしれない。やはり、すべて繋がっているのである。

